

意外と知らない
「**歯科医師**」という職業

現状と魅力、今後超高齢社会で果たす大きな役割

01 歯科医師数問題
～歯科医師の置かれている現状～

02 超高齢社会で増える歯科需要
～歯科医師の新たな役割とは～

03 健康と幸せに貢献する高度な専門職
～意外に知らない歯科医師の魅力～



01 歯科医師数問題 ～歯科医師の置かれている現状～

今や人気の職業とはいえない歯科医師

●小学生がなりたい職業トップ100

【男子】

- 1位 サッカー選手・監督など
- 2位 野球選手・監督など
- 3位 医師
- 4位 ユーチューバー
- 5位 ゲーム制作関連
- 6位 会社員・事務員
- 7位 プロゲーマー
- 8位 建築士
- 9位 飼育員
- 10位 料理人・シェフなど
- ⋮
- 18位 薬剤師
- 42位 看護師

歯科医師 42位 (同率)

【女子】

- 1位 医師
- 2位 看護師
- 3位 保育士
- 4位 イラストレーター
- 5位 教師
- 6位 薬剤師
- 7位 美容師
- 8位 パティシエール
- 9位 獣医
- 10位 会社員・事務員
- ⋮
- 21位 ユーチューバー
- 67位 歯科衛生士
- 74位 プロゲーマー

歯科医師 74位 (同率)

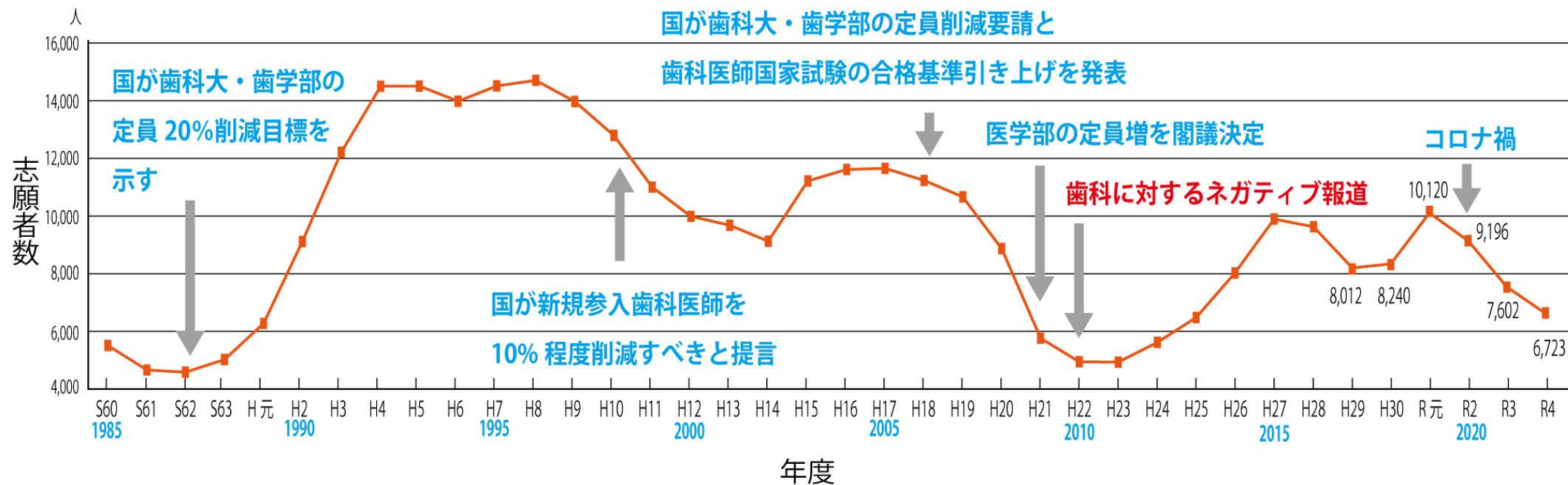
●中高生がなりたい職業トップ100

- 1位 YouTuber
- 2位 警察官
- 3位 司書
- 4位 臨床心理士
- 5位 プロスポーツ選手
- 6位 外交官
- 7位 公務員[一般行政職]
- 8位 イラストレーター
- 9位 声優
- 10位 PA[音響]
- ⋮
- 16位 看護師
- 17位 薬剤師
- 21位 医師

歯科医師 ランク外（101位以下）

社会情勢に左右される歯科医師の人気

■ 私立歯科大学・歯学部の入試志願者数推移



一般社団法人 日本私立歯科大学協会データ

歯科大学・歯学部卒業後の歯科医師の人気は高く 求人倍率8.72！就職率100%！

■私立歯科大学・歯学部卒業生への求人状況（2022年3月卒業）

【件数ベース（14歯学部）】

卒業生数	求人件数	求人倍率
1,181人	10,301件	8.72 倍

【人数ベース（6歯学部）】

卒業生数	求人人数	求人倍率
574人	7,321人	12.75倍

○参考 大卒求人倍率（2022年3月卒業予定）

民間企業 就職希望者	求人総数	求人倍率
45.0万人	67.6万人	1.50倍

株式会社リクルート リクルートワークス研究所調べ

歯科医師人気に影響を与える「誤解」

【2010年頃から一部報道やSNSなどで下記のような歯科に対するネガティブな情報が拡散されました。その真偽は……!?】

- 「歯科医院はコンビニより多い」ってホント？
- 「過当競争で歯科医院は利益が上がらなくなった」の？
- そもそも「歯科医師数は多すぎる」の？
- 「歯科医師を目指す若者が減っている」の？

実情：歯科医師はこの20年で約1万7千人増えて約10万7千人に

■ 歯科医師数推移

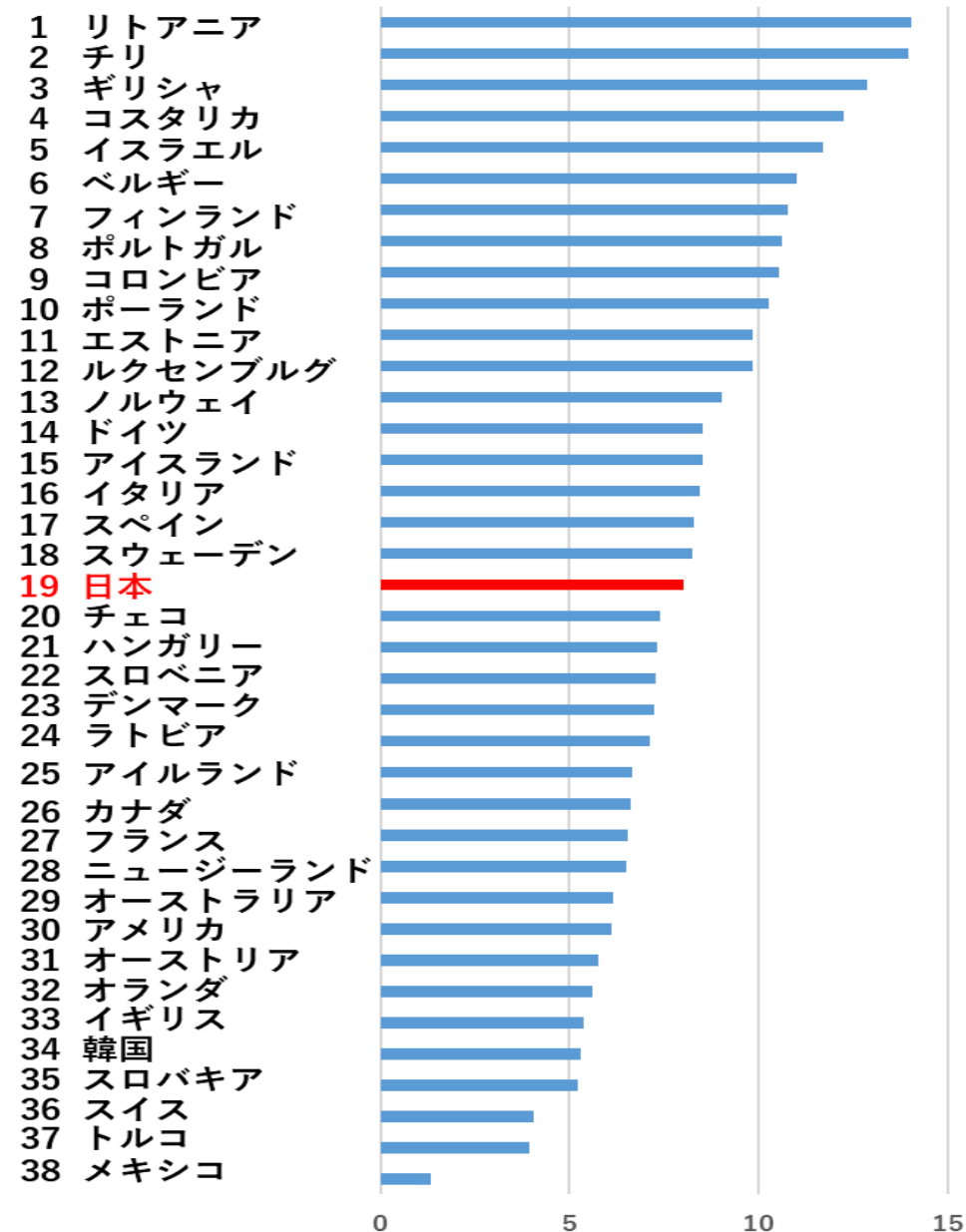


日本の歯科医師数は 世界的に見ると過剰ではない

人口当たりの歯科医師数の比較では、
日本の歯科医師数は
OECD加盟38国の中で19位
世界では中位であり、
決して歯科医師が過剰だとはいえず、
今後はさらに減少していこうとしています。

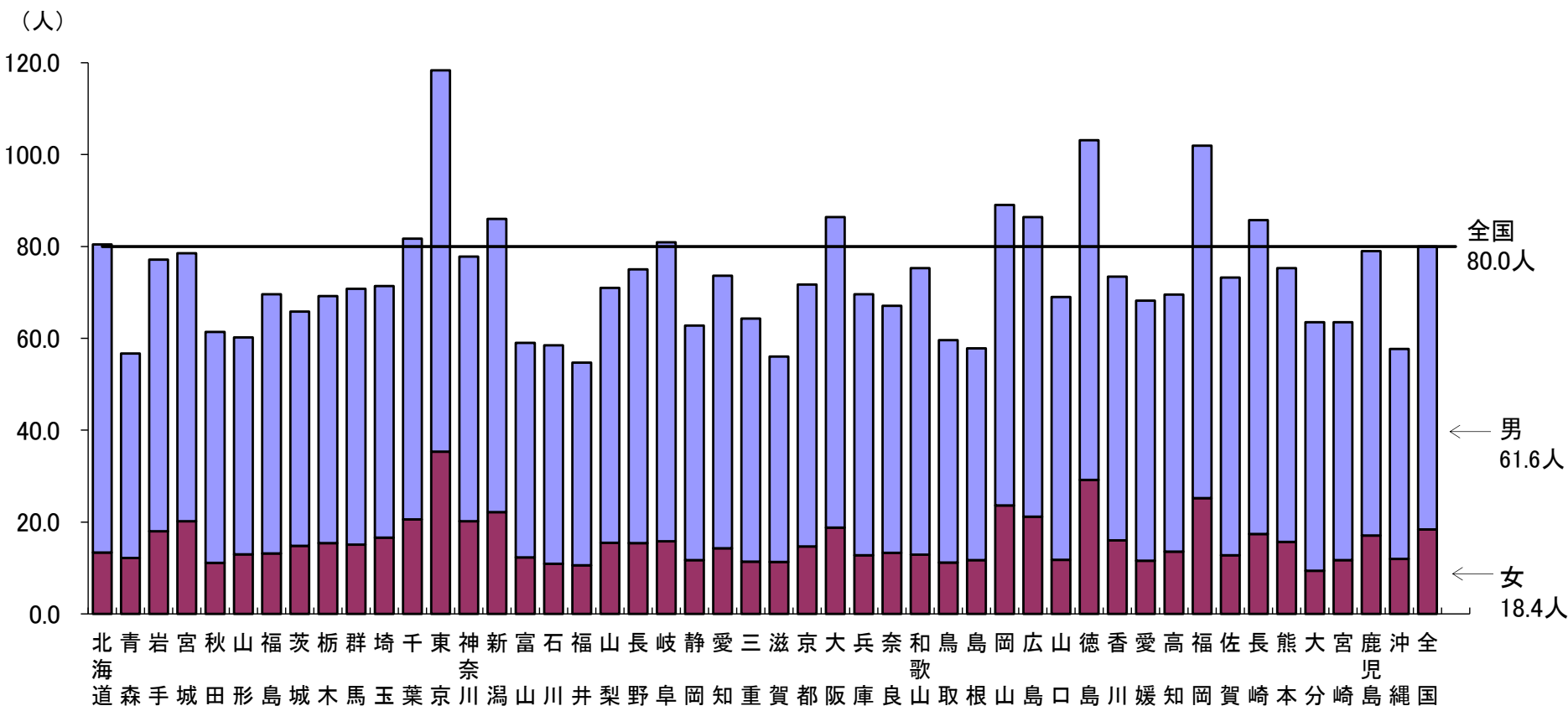
WHOのホームページでは [Global Health Observatory \(GHO\) data](#) という世界各国の医療・病院・クリニック・健康に関する統計データを公表しています。

■ OECD加盟国-人口1万人当たりの歯科医師数（2022）



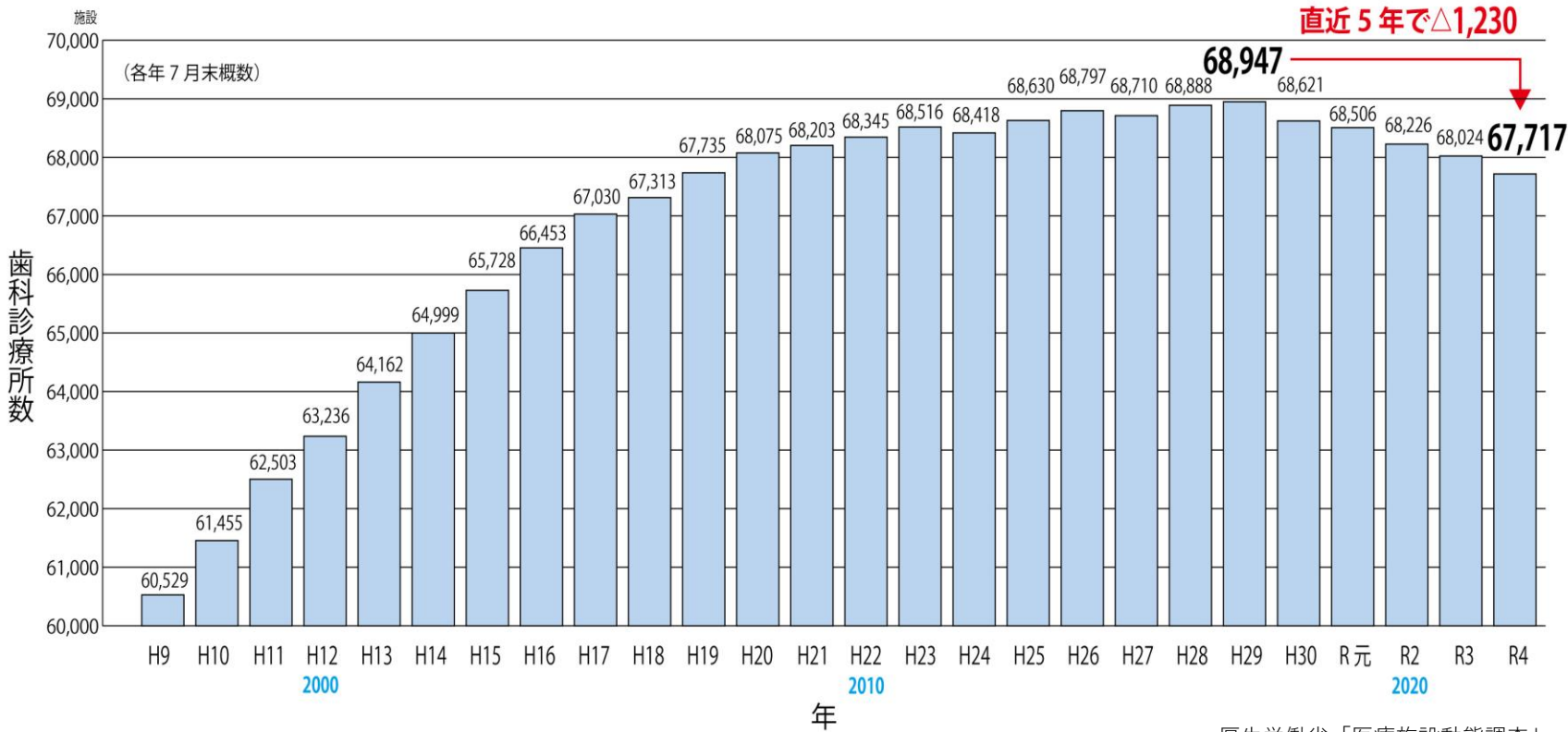
歯科医師は偏在している

都道府県別人口10万人対歯科医師数（2020年）



歯科診療所は約6万8千施設。近年はやや減少傾向

■ 歯科診療所数の年次推移



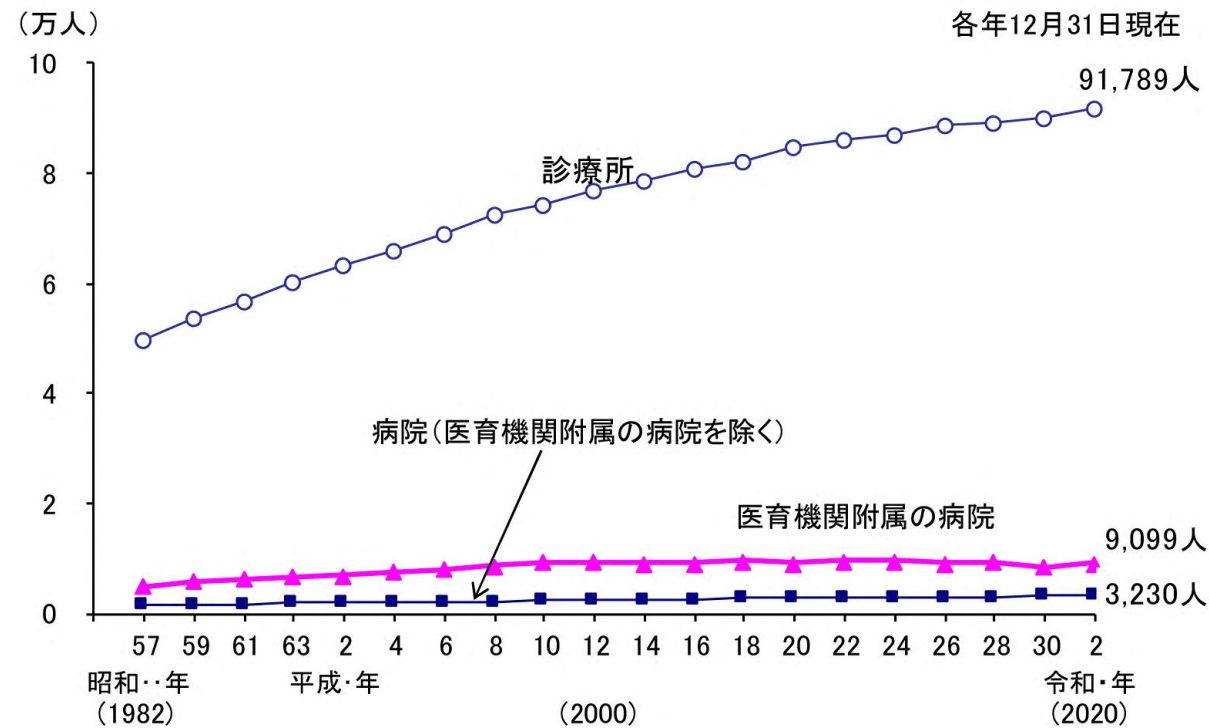
■ 歯科診療所数の
1年間の動態状況
(R元→R2)

令和元年 10月1日現在		68,500
増	開設	1,393
	再開	172
減	廃止	1,714
	休止	477
増減		△626
令和2年 10月1日現在		67,874

厚生労働省「医療施設(静態・動態)調査・病院報告」

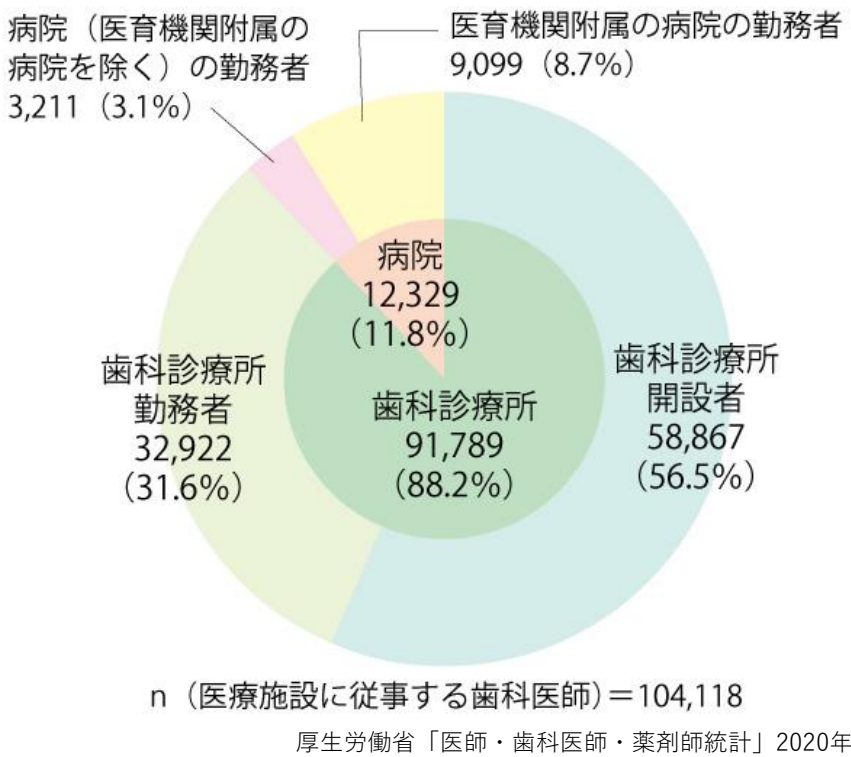
歯科医師の9割は歯科診療所で地域口腔保健に貢献 (6割は開業医、3割は勤務医)

■施設の種別にみた医療施設に従事する歯科医師数の年次推移



厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

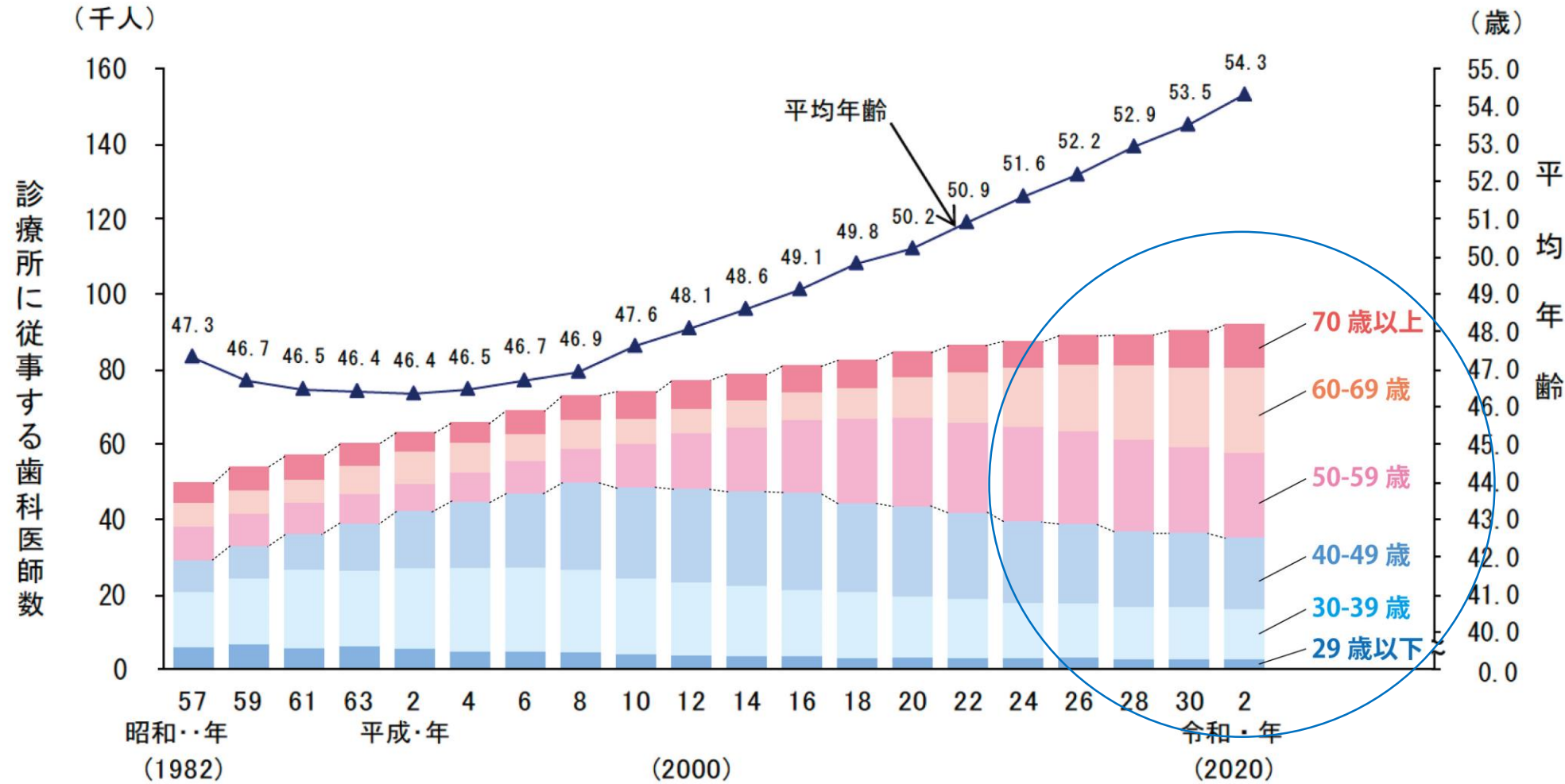
■医療施設に従事する歯科医師の勤務形態



- 医療施設以外の従事者
- ・介護老人保健施設の従事者 28人
 - ・介護医療院の従事者 6人
 - ・医育機関の臨床系以外の勤務者又は大学院生 1,048人
 - ・医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者 213人
 - ・行政機関、産業医、保健衛生業務の従事者 385人
 - ・その他 1,645人

進む歯科医師の高齢化。平均54.3歳。歯科医師の半数以上が50歳以上

■ 年齢階級別にみた診療所に従事する歯科医師数及び平均年齢の年次推移

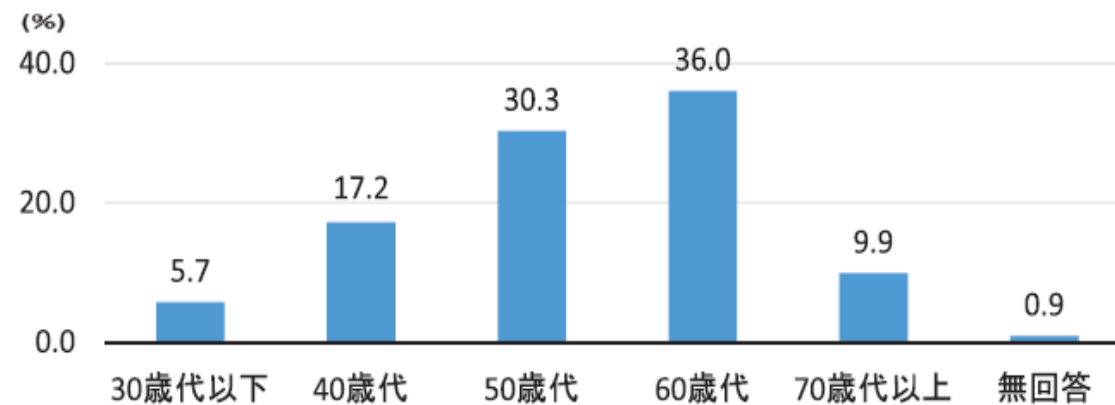


開業歯科医 （歯科診療所開設者）の 46.8%が60歳以上。 9割は継承が決まらない

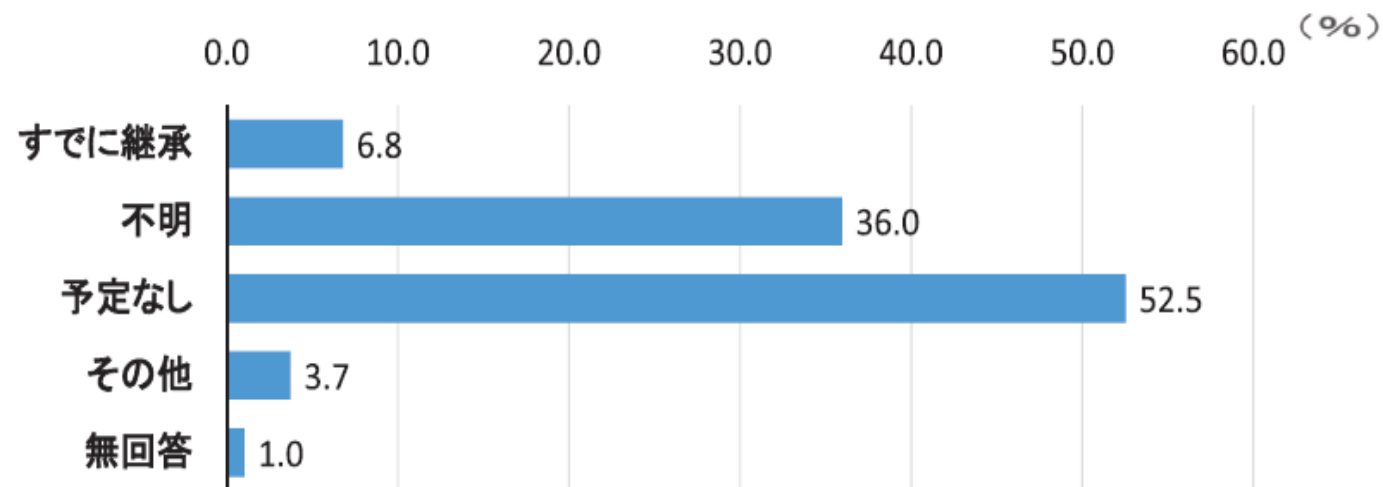
日本歯科医師会会員である歯科医療機関の管理者
いわゆる開業歯科医約1 万名にアンケート調査

地域包括ケアシステムにおける「かかりつけ歯科医師が果たす役割と今後の働き方等」（2020 年3 月）に関する調査 日本歯科総合研究機構

■ 歯科診療所管理者の年代及び将来の継承の予定



管理者の年代



将来の継承の予定

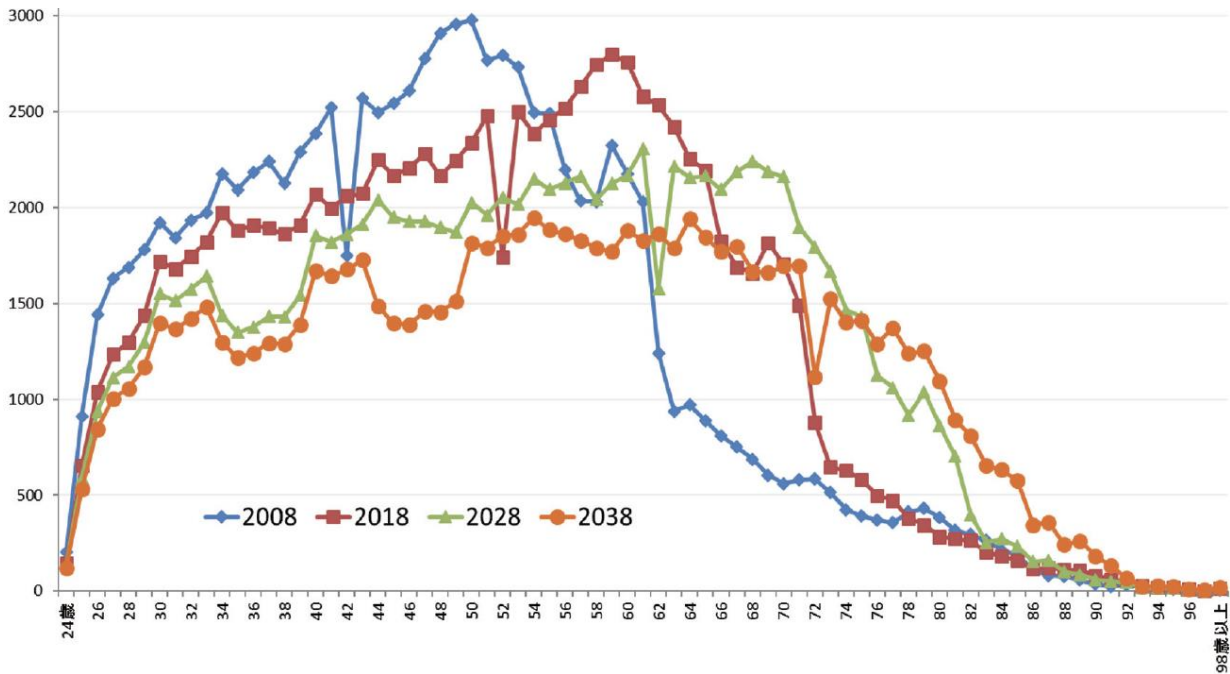
就業歯科医師の高齢化が進み、2025年辺りからは歯科医師数が減少に転ずる模様

人口10 万対歯科医師数の推計

人口 10 万対歯科医師数の将来推計				
	2008 年	2018 年	2028 年	2038 年
(全数)	75.7	80.5	82.3	80.2
70 歳でリタイアと仮定	70.8	74.2	69.2	63.6
75 歳でリタイアと仮定	72.8	77.5	76.0	70.0

2008 年および2018 年年齢別歯科医師数より作成
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より日本歯科総合研究機構作成

2038 年までの歯科医師数の将来予測



推計方法：2008 年および2018 年の年齢別歯科医師数のデータをもとに、過去の歯科医師国家試験合格率も加味し、2028 年および2038 年の歯科医師数を推計した。
厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」より日本歯科総合研究機構作成



02 超高齢社会で増える歯科需要 ～歯科医師の新たな役割とは～

超高齢社会と歯科ニーズ

日本は高齢化率※が2007年に21.5%となり、**超高齢社会**に入りました。

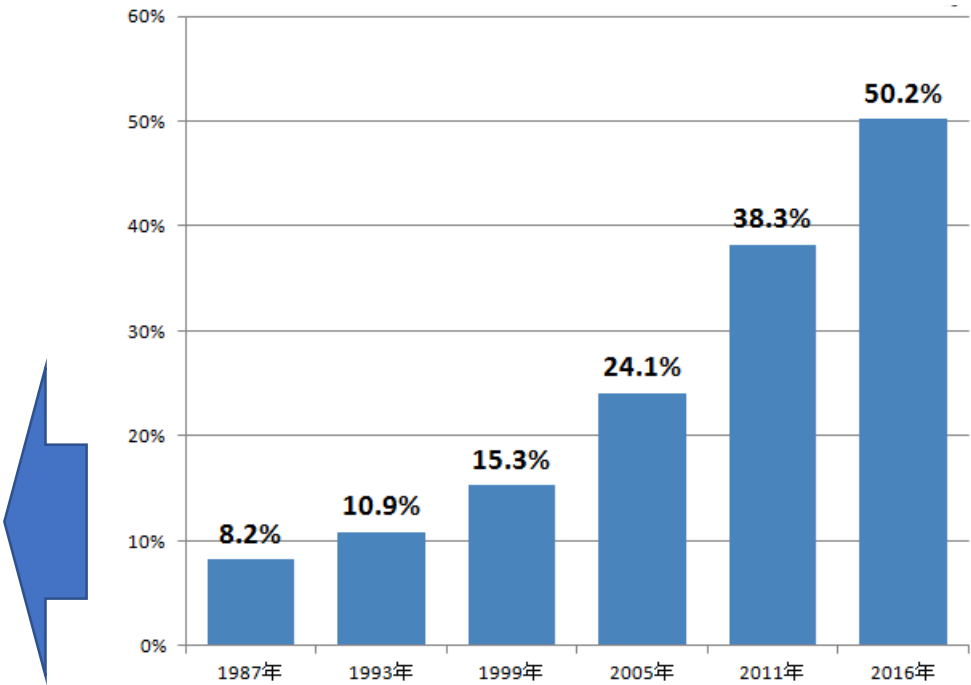
2019年度の平均寿命と健康寿命

	平均寿命	健康寿命（試算）	差
男性	81.41	72.68	8.73
女性	87.45	75.38	12.07



- 平均寿命が延びることで介護や医療によるサポートやケアが必要となる期間も延びていきます。
- 歯科に関しては、高齢者で多くの歯が残っている人が増えてきたのは喜ばしいことですが、その歯をケアし続けるという新たな必要性も生まれています。
- 高齢で体の自由が利かない、寝たきりになる、などの理由で口腔の自己管理ができなくなる方が増え、過去の虫歯治療を中心とする歯科医療は、予防・口腔管理を中心とする歯科医療へと変化しつつあります。

「8020 達成者」推定比率推移

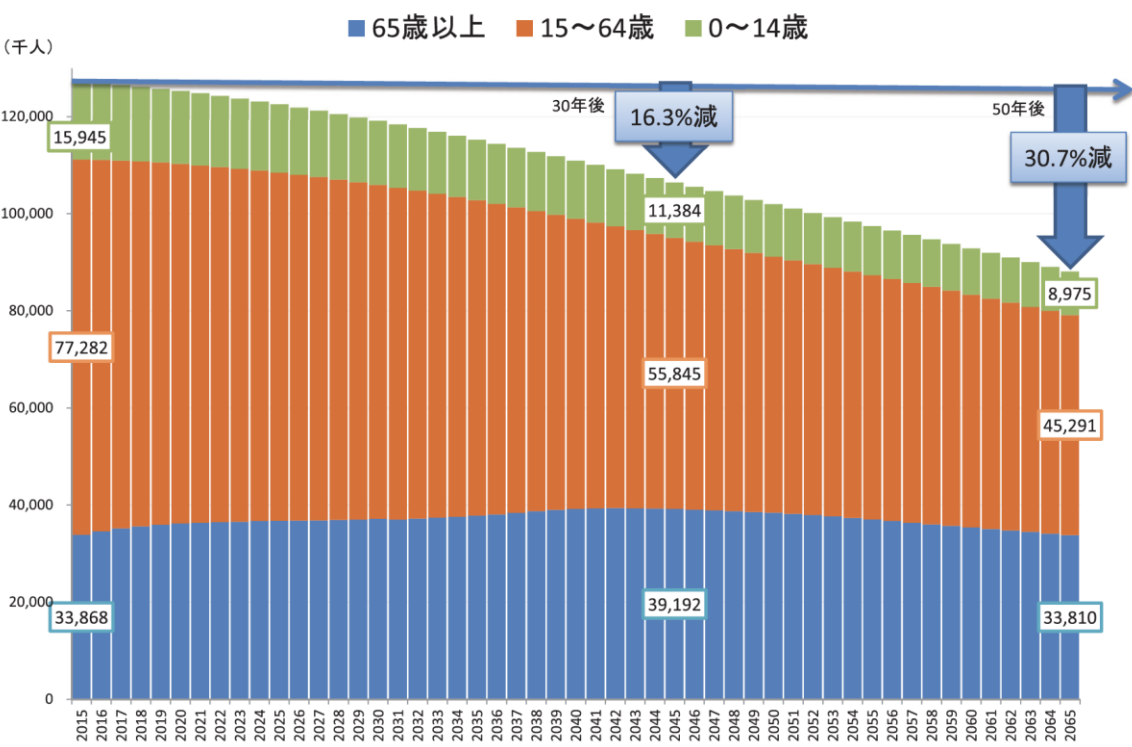


歯科疾患実態調査（厚生労働省）より日本歯科総合研究機構作成

※高齢化率：総人口に対して65歳以上の高齢者人口が占める割合

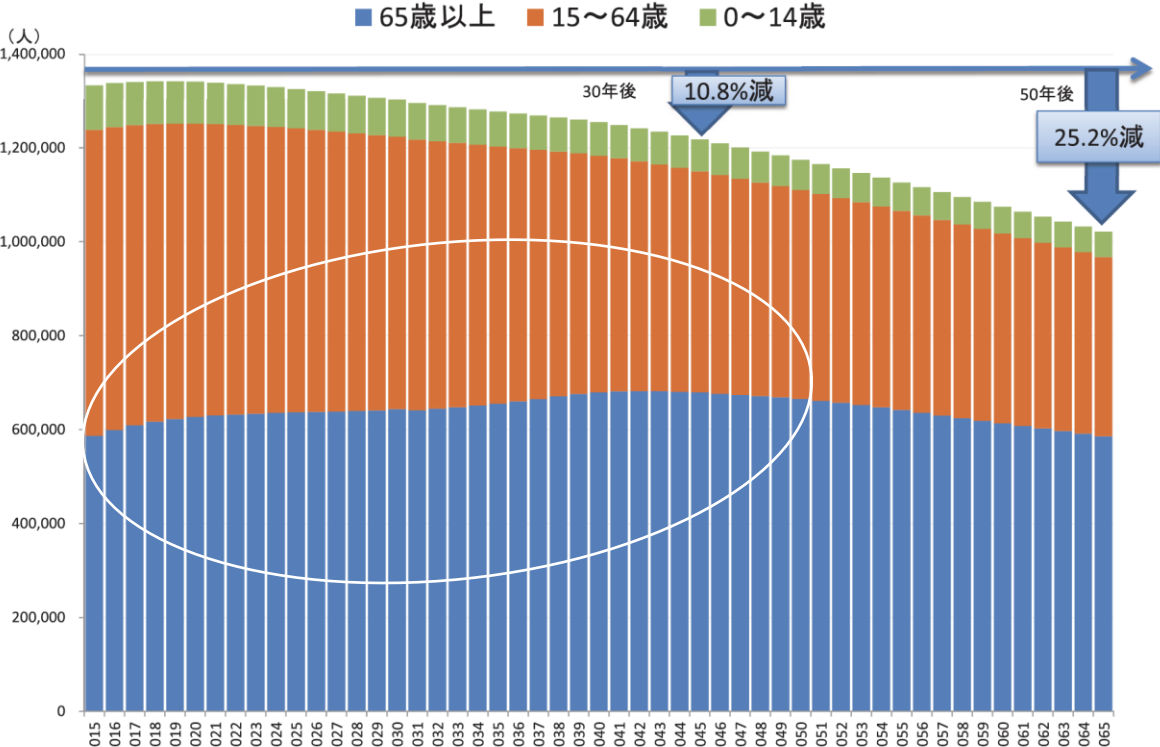
人口が減少しても高齢者の**歯科**患者数は増加が続く

■今後50 年後までの人口推計



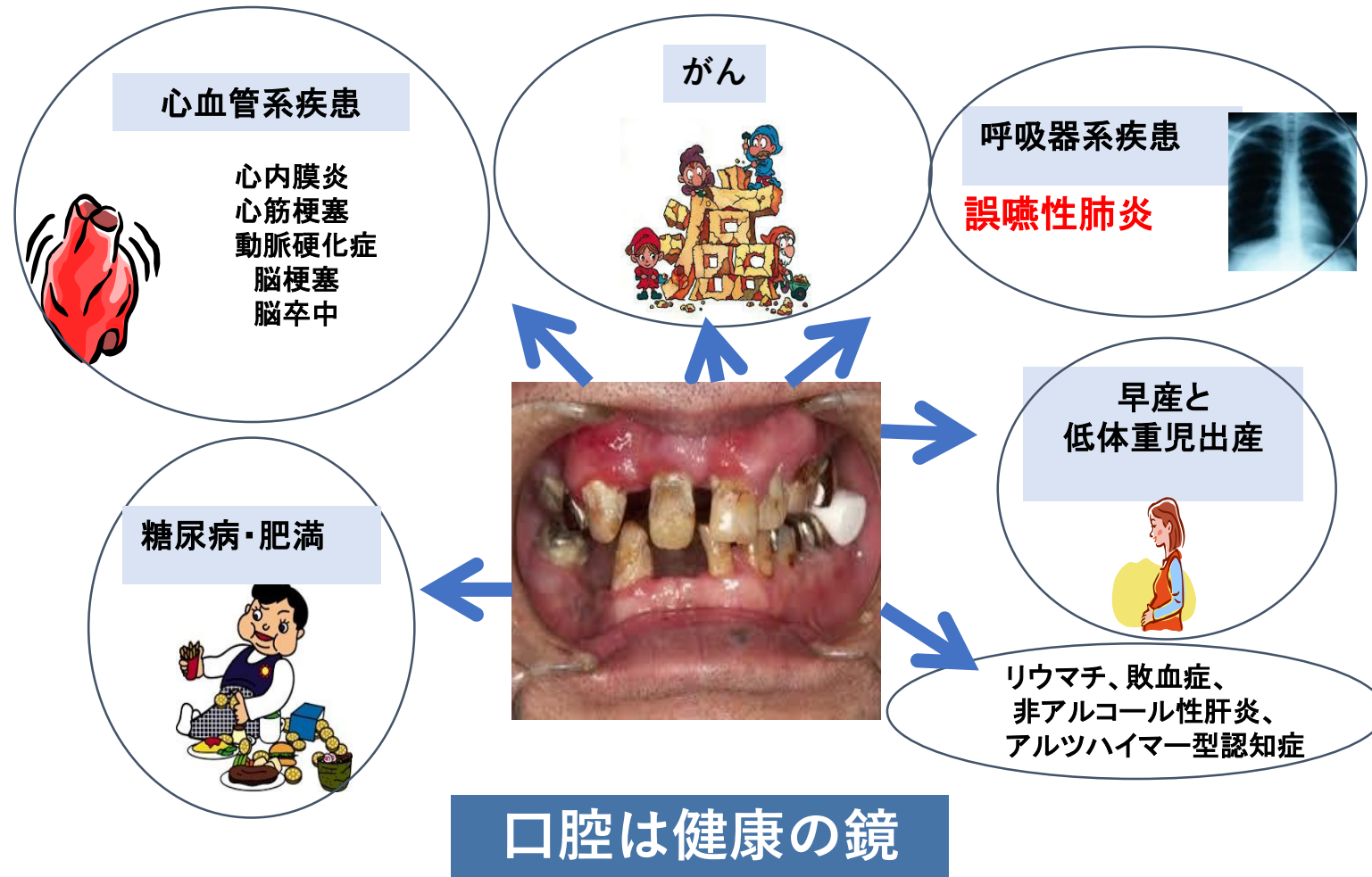
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口
(平成29 年推計)」より日本歯科総合研究機構作成

■今後50 年後までの歯科診療所患者数推計



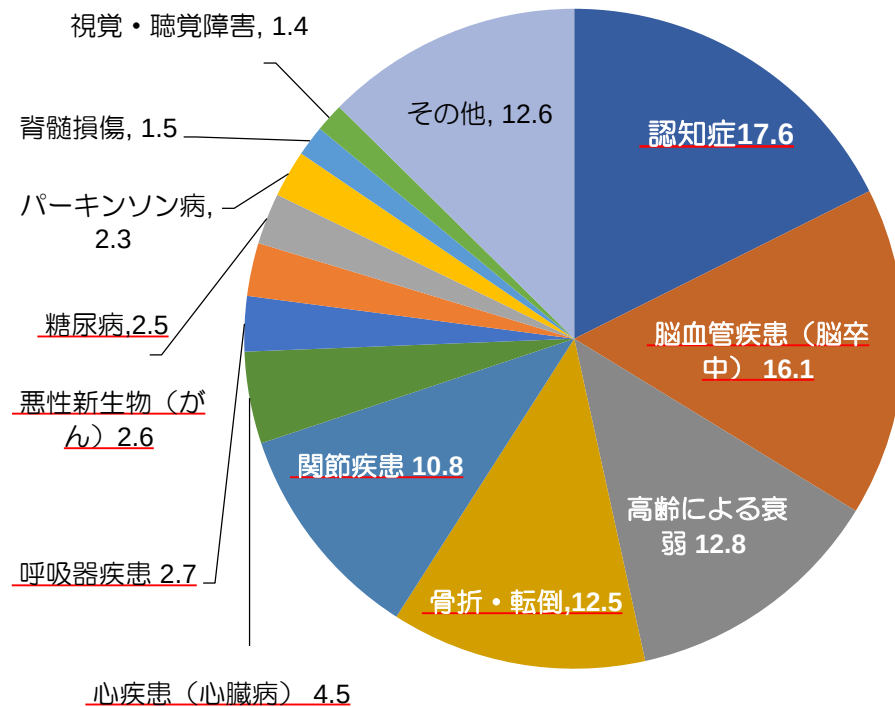
国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口
(平成29 年推計)」および厚生労働省「患者調査」より
日本歯科総合研究機構作成

歯周病などの口腔疾患は全身の健康に影響を及ぼす。 歯科医師は口腔の健康の維持・管理で国民の健康長寿に貢献



要介護状態になる原因の多くは口腔の健康と関連している

■介護が必要となった原因



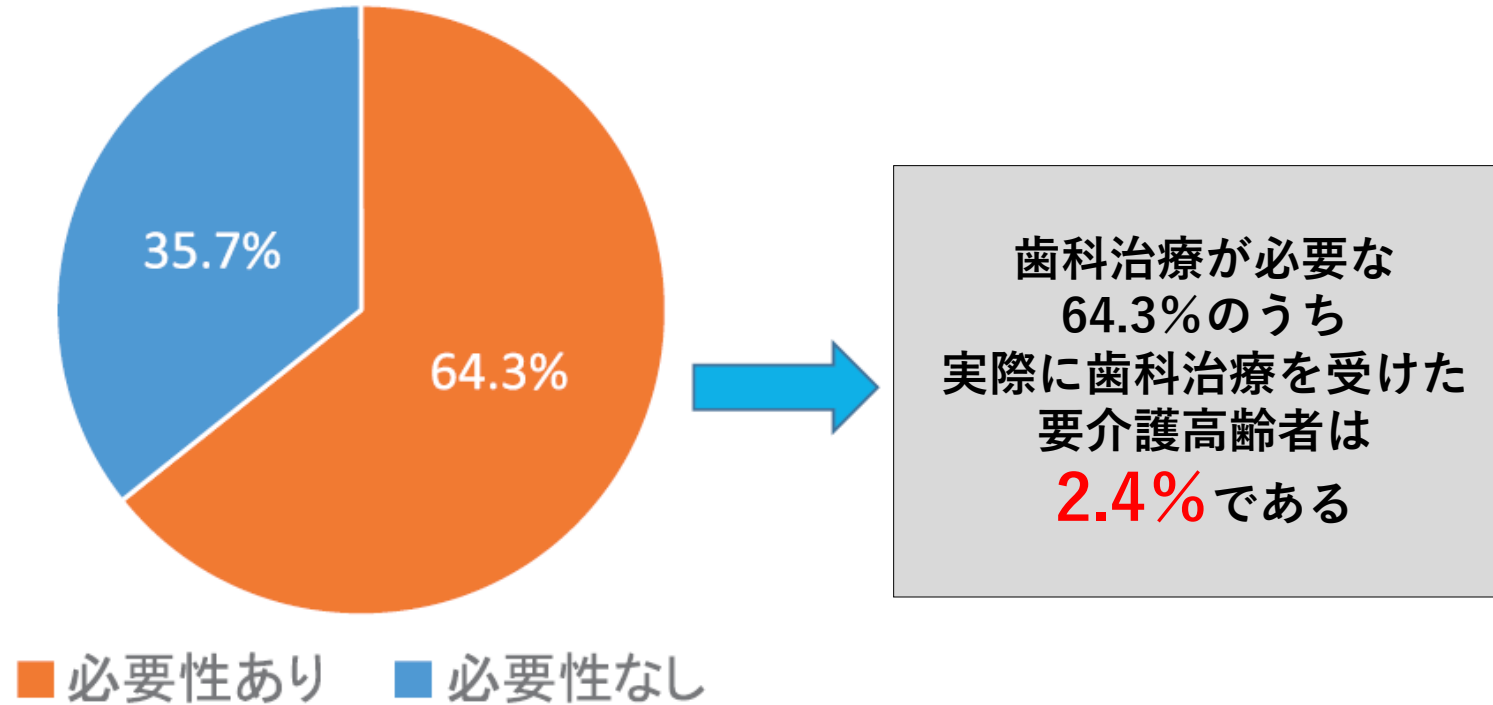
2019年国民生活基礎調査

歯周病は、認知症（特にアルツハイマー型）・脳卒中・心疾患・糖尿病・肺炎（呼吸器疾患）など、多くの疾患に係ることが分かっています。

また、自身の歯を失い義歯などの治療を受けないと、認知症や、転倒・骨折などのリスクを高めることから、**口腔疾患が要介護の原因の多くと係わっていることが分かります。**

歯科医療を受けられていない高齢者も多い

■要介護高齢者の口腔状態と歯科治療の必要性



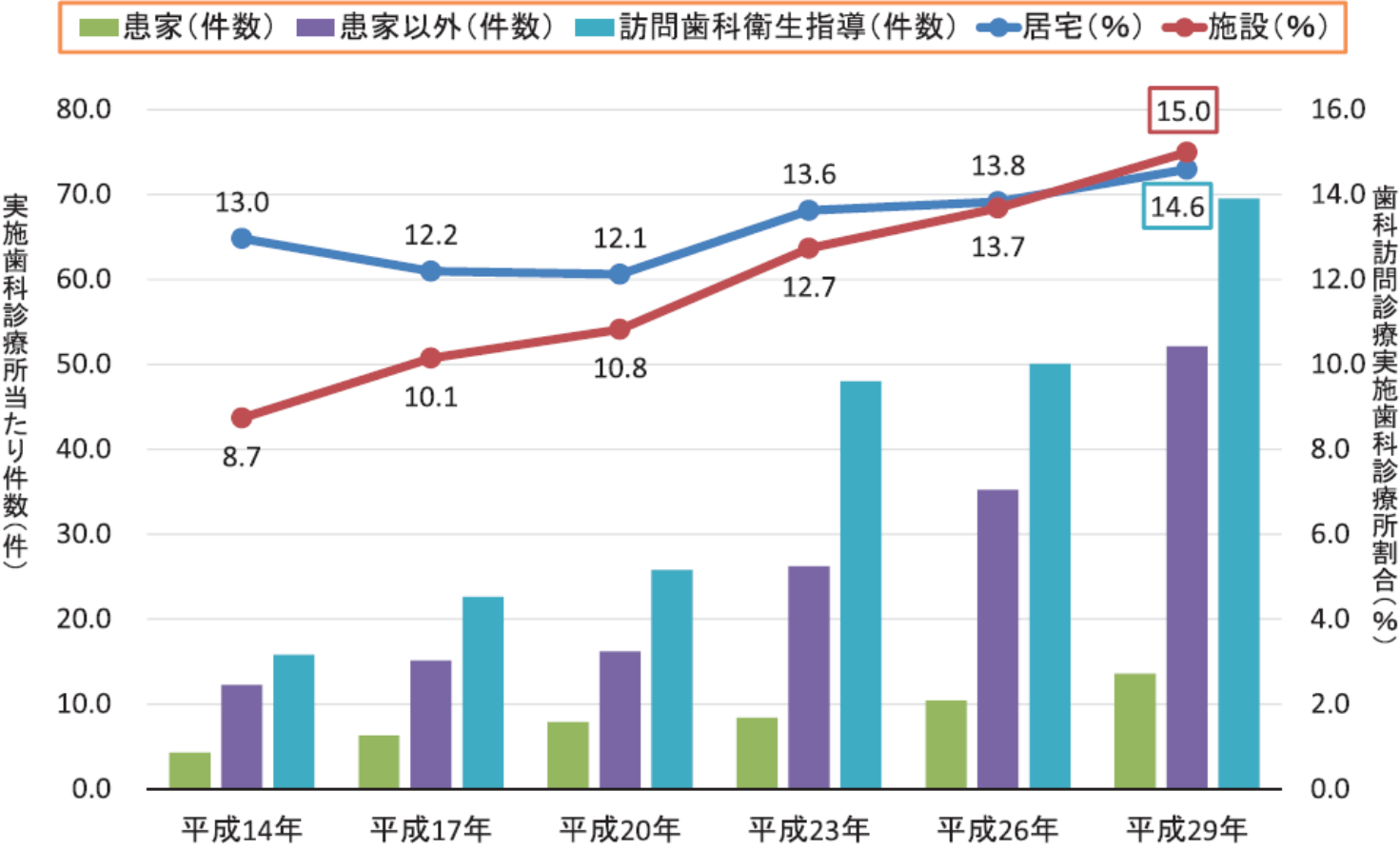
対象者：要介護高齢者290名（平均年齢 86.9歳±6.6歳）
※在宅・グループホーム・通所・病棟・老健・特養など

令和元年度日本歯科医学会 プロジェクト研究「フレイルおよび認知症と口腔健康の関係に焦点化した人生100年時代を見据えた歯科治療指針作成に関する研究」中間報告書より引用



いま、歯科に望まれているニーズに応じて 「歯科訪問診療」をするためには、歯科医師が足りない

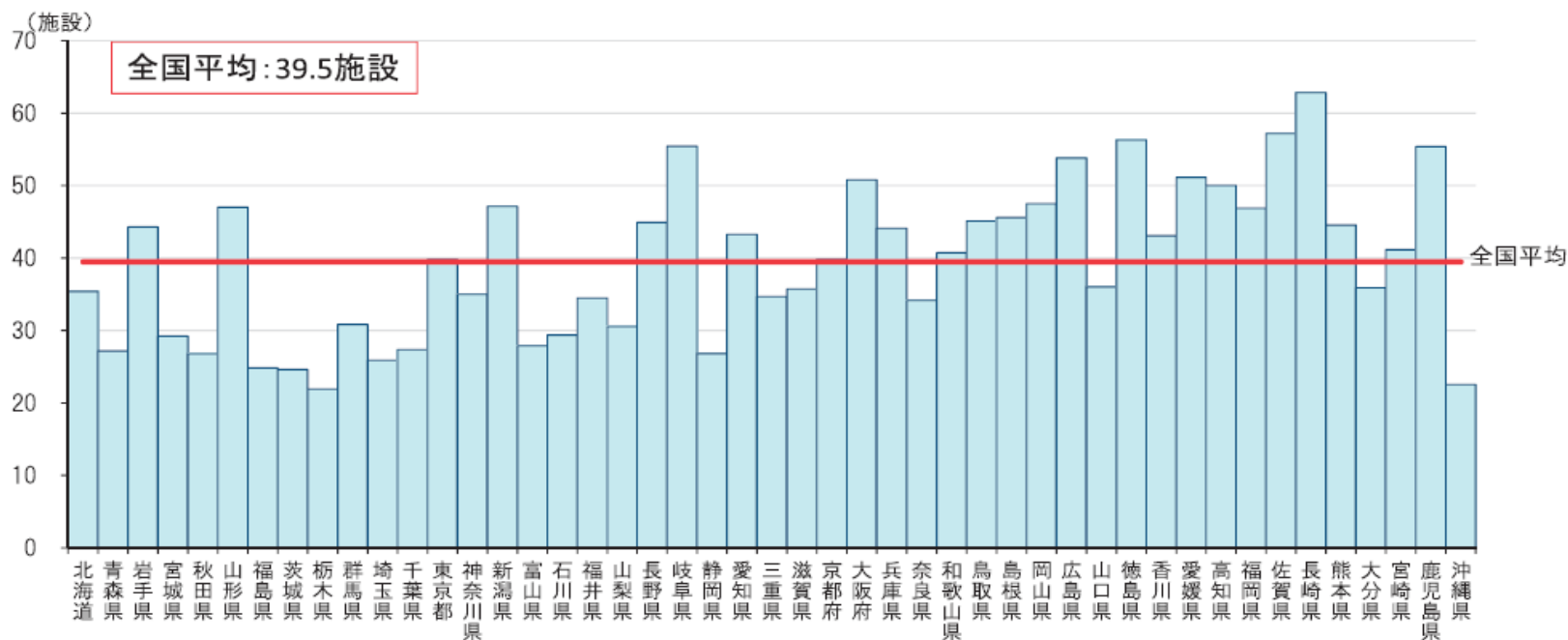
■ 居宅・施設別の実施歯科診療所割合と実施歯科診療所あたりの実施件数経年推移



要介護者に対して歯科訪問診療を実施しているのは、 全国平均で高齢者10万人あたり約40施設

■都道府県別の歯科訪問診療実施医療機関数

- 高齢者人口（65歳以上人口）10万人あたりの歯科訪問診療を実施している医療機関数は、全国平均で約40施設であった。
- 最も多い長崎県で約63施設、最も少ない栃木県では約22施設と都道府県によってばらつきがみられた。



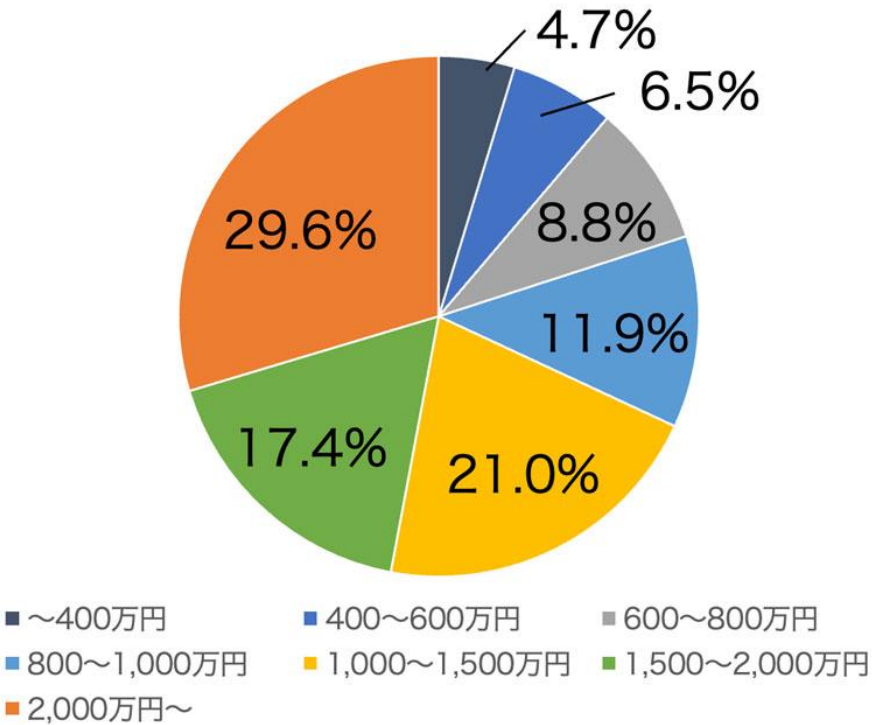


03 健康と幸せに貢献する高度な専門職 ～意外に知らない歯科医師の魅力～

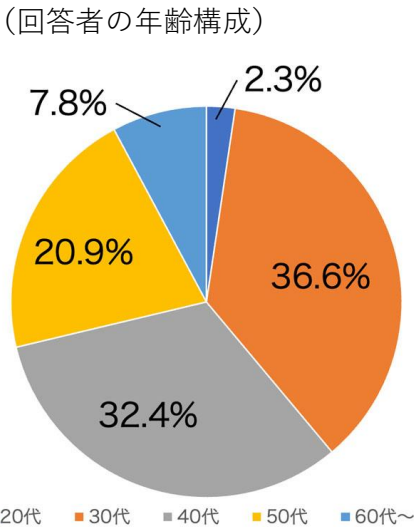
歯科医師は本当にワーキングプアか？

■ 歯科医師の年収はいくらですか？（アンケート調査 n=383）

年収1,000万円以上が7割！ 年収2,000万円以上が3割！



(回答者の属性)
・ 開業医 253名
・ 勤務医（大学・病院勤務者含む） 127名
・ 他 3名



■ 主な専門職の職業別年収ランキング

職種	平均年収
1 医師	約 1,378 万円
2 航空機操縦士	約 1,072 万円
3 大学教授（高専含む）	約 1,072 万円
4 その他の経営・金融・保険専門職業従事者	約 1,030 万円
5 法務従事者	約 945 万円
6 大学准教授（高専含む）	約 856 万円
7 管理的職業従事者	約 840 万円
8 歯科医師	約 787 万円
9 システムコンサルタント・設計者	約 734 万円
10 研究者	約 714 万円
11 小・中学校教員	約 699 万円
12 著述家、記者、編集者	約 696 万円
13 大学講師・助教（高専含む）	約 694 万円
14 高等学校教員	約 693 万円
15 発電員、変電員	約 666 万円
16 公認会計士、税理士	約 659 万円
17 音楽家、舞台芸術家	約 647 万円
18 輸送用機器技術者	約 647 万円
19 企画事務員	約 621 万円
20 鉄道運転従事者	約 615 万円

歯科医師向け情報サイト「WHITE CROSS」 <https://www.whitecross.co.jp>
歯科医師の年収に関する調査 2021

むし歯を治すだけじゃない！新たに広がる歯科医師の領域

災害歯科



摂食・嚥下リハビリテーション



睡眠歯科



インプラント



顎関節症



再生医療（歯牙・歯周組織の再生）



地域や行政でも活躍する歯科医師

学校歯科医

- 学校（小中高）で歯科健康診断や歯科保健指導、歯科保健教育などを行います。
- 普段は歯科医院等で勤務し、健診時に学校へ出向く非常勤職員（公務員）です。

産業歯科医

- 塩酸、硫酸などの有害物質を取り扱う特定の業務に従事している労働者に健康診断を行う歯科医師です。
- 事業所に出向いたり勤務先の歯科医院を受診してもらって検診、アドバイスなどを行います。

警察歯科医

- 事件や災害等で亡くなった方の歯型や治療痕から該当者の確認を行います。
- 東日本大震災等における犠牲者の身元確認でその有用性が明らかになっています。

歯科医官

- 歯科医師免許を持った陸海空自衛隊の幹部自衛官です。
- 自衛隊の病院や基地の医務室などで歯科健康診断、診療、健康管理を担います。

行政・保健所 歯科医師

- 厚生労働省や地方自治体・保健所などにおいて、保健医療や公衆衛生の分野で、口腔に関する専門知識を活かし、行政官として歯科医師が活躍しています。

歯科医師はさまざまな医療のキーパーソン

歯科医師は口腔がんのキーパーソン 【口腔外科】

- 口の中にできるがんの治療を歯科医師が行っています。口腔がんは近年増加中。
- 歯科医師による早期発見や口腔がん検診の重要性も高まってきています。

歯科医師は口・顔面の痛みや麻痺の キーパーソン【歯科麻酔】

- 歯科医師も歯科・口腔外科の患者に全身麻酔をかけることが認められています。
- 口、顎の痛みを扱う「ペインクリニック」でも痛みを抑えるために歯科麻酔が活躍。

歯科医師は最先端医療のキーパーソン 【再生医療を担う歯科医師】

- 歯からとった歯髄細胞が有望な幹細胞として注目を集めています。
- 事故や病気などで失われた歯周組織の再生はすでに普及段階。

歯科医師はスポーツ医学のキーパーソン 【スポーツ歯科】

- 口の健康を通して選手のパフォーマンス向上をサポート。
- マウスガードでスポーツ外傷を予防。



インプラント手術のための歯科麻酔



スポーツ歯科／歯科医師の救護風景

歯科医師は女性が活躍できる職業

歯科医師の4人に
1人は女性で約2万7千人

- ・ 女性歯科医師の割合は、50年前は10%程度でしたが、今は25%にまで増加
- ・ 歯科大学・歯学部では、学生に占める女性の割合はおよそ**4割**
- ・ 歯科医師国家試験では合格者の4割以上が女性

男女間の格差もなく
力仕事やハードな勤務もなし

- ・ 力を必要とする場面はほとんどなく、体力的な厳しさはない
- ・ 歯科は予約診療、計画診療が一般的で夜勤や当直はほとんどなし

女性ならではのメリットや
適性が発揮できる

- ・ 男性に比べて手が小さく、狭い口の中で細かな作業ができる
- ・ 女性だからこそ理解できる体調（EX;マタニティ歯科）の相談などにも乗れる

専門技術を活かしながら
柔軟な働き方が可能

- ・ 出産・育児などで休職しても国家資格と専門技術があるので復帰や再就職が容易
- ・ 復帰後の働き方も、フルタイム、時短、パート・アルバイトなど柔軟に働ける
- ・ 「週3日だけ」「午前中だけ」など自由に働けてそれなりの収入が確保できる

歯科医師はやりがいがあり安定性も高い生涯続けられる仕事

就職率100%！

- ・開業も含め、歯科医師の就職率は100%
- ・歯科医師の求人は多く、私立歯科大学・歯学部への求人件数は**8.7倍以上**
- ・このご時世で「歯科医師国家資格」は大変心強い資格といえる

生涯続けられる仕事

- ・歯科医師免許はライセンスの更新や定年のない生涯有効な国家資格
- ・歯科医院で働いている70歳以上で現役の歯科医師は1万人以上
- ・自分で定年を決められる

国民の健康とQOL向上に直結したやりがいの高い仕事

- ・食べる、話す、息をするといった大切な機能を持つ口の健康を支えるのが仕事
- ・子供から高齢者まで、口の健康を維持・改善することで健康とQOL向上に貢献
- ・治療によって目に見えて患者のQOLが上がるため、感謝されることが多い

